

地域の活動拠点のあり方を考えます！

- 富木島地区では、令和4年度（2022年度）に地域の将来像「富木島地区将来ビジョン」を策定し、その実現に向けて様々な活動を展開しています。
- 令和6年度（2024年度）からは、地域課題の解決や活力の創出につながる取組を行うための活動拠点のあり方を検討しています。
- 第1回は9月1日（日）に開催し、公共施設等総合管理計画や、富木島の地域密着型施設の状況及び拠点のあり方等について共有しました。（参加者6名）
- 第2回は11月16日（土）に開催し、引き続き、地域の合意形成を積み重ねながら検討を進めます。（参加者9名）

富木島地区にある主な地域密着型施設（公民館・児童館・健康交流の家）は比較的新しいことから、コミュニティの活動拠点を確保する必要性の有無について調整・検討の結果、活動拠点を確保する方向性で合意形成が得られた場合は、地域密着型施設の集約化・複合化ではなく、富木島公民館を核にしたコミュニティセンター化の検討を進めることを共有しました。

現状整理のため、公民館を中心に「良い点・気になる点」等を洗い出し！

- 地域住民のほか、施設利用者や運営者など様々な視点から、公民館等の「良い点・気になる点」や「施設間連携」について、意見が出されました。
（◎…良い点、▲気になる点、★…改善アイデア）

項目	良い点	気になる点(改善アイデア)
立地 アクセス	◎立地面やアクセスが良い ◎公民館と児童館は子どもが歩いて往来できる(施設間連携の可能性有)	▲公民館、児童館、健康交流の家は富木島地区の東部に位置しているため、各施設から遠い地区の住民は、施設の存在を知らない人もいる
多目的 な利用	◎比較的稼働率が高い …ある程度のニーズに corres 応している …機能の付加は難しいかもしれない ◎子ども食堂として利用している(全館)	★夏休みなどの長期休業期間に子どもが昼ご飯を食べるスペースがあるとよい ★予約なしで小学校高学年、中高生が思い切り体を動かせる場があるとよい(見守り体制が必要)
ハード面	◎駐車場が広く充実している ◎オールバリアフリー ◎広い多目的室がある	▲共用部分(玄関正面のテラススペース)を活用できるよい ▲コミュニティが使えるスペース(事務室、作業室等)があるとよい
管理運営	—	▲主事や管理員のいない時間(正午～午後1時、午後5時～9時)の体制が不安



本取組に関するご質問等は下記までお問い合わせ下さい

連絡先：東海市市民協働課

電話：052-613-7526、7527／0562-38-6141、6142

Email chiiki@city.tokai.lg.jp